

# 第67回 ISO/TMB (技術管理評議会)報告

經濟産業省 産業技術環境局  
国際標準課  
平成28年10月

## 目次

- 1. ～ 3. TMB横断的業務
- 4. ～ 6. 分野横断的標準化案件
- 7. ～ 10. 個別TC/SC案件

## TMBの任務と議長・メンバー・事務局の紹介

### 1. 任務

- ISO規格作成に関する管理事務的事項
  - ✓ TC/SC/PCの設置・廃止、議長任命、幹事国割当、ISO/IEC専門業務指針の改訂等
- ISO規格作成に関する戦略的事項
  - ✓ TC/SC戦略ビジネスプランの審議・承認、TC/SC活動の調整・モニタリング等

### 2. メンバー

- TMB議長: Elisabeth Stampfl-Blaha (オーストリア)
- TMBメンバー (15名) :  
Steve Cornish (米), Amanda Richardson (英), Bohnsack, Ulrike (独), Alain Costes (仏), 松本 (日), Chenguang Guo (中) , Ms. Beskow, Cecilia (スウェーデン), Urs Fischer (スイス), Susanna Vahtila (フィンランド), Heleen Temple (南ア), Claudio Guerreiro (ブラジル), Adrian O'Connell (豪), Ridzwan Kasim (マレーシア), Anton P. Shalaev (ロシア), CHUN, JIN SU(韓)
- ISO中央事務局 :  
事務局次長代理 : Nicolas Fleury  
TMB事務局 : Sophie Clivio, Belinda Cleeland, José Alcorta

2

## T M B 横断的業務

3

## 1. ISOの標準化のリードタイム短縮の提案 〈TMB Resolutions 101/2016〉

- 18ヶ月トラックの追加及び直接発行プロセスを承認。ただし、指名エキスパート制度については、各プロジェクトの責任であるとして不採用。
  - ✓ 直接発行プロセスとは
    - DIS投票後～発行までを20週間で行うプロセス
    - 18ヶ月トラックを使用し、プロジェクト登録後13ヶ月以内にDIS投票が完了した場合に限り認められる。
- 11月末のDMTにおいて、本決議に応じたDirectives、ISO補足指針等の改訂事項について議論予定。

4

## 2. TC/SC総会へのWeb会議システムを活用した遠隔参加の推進

- 多くの問題が生じることが予見されるため、改訂版ガイドラインの施行後にレビューを行い、2018年9月のTMB会合において結果を検討。
  - ✓ 背景
    - 遠隔参加の導入に関するパイロット・プロジェクトを実施し、得られたフィードバックを分析の上、ガイドラインを改訂。

5

### 3. 新業務に関するCSC/SPC（理事会戦略常設委員会）との合同TF

- 新規標準化事項の承認とフォローアップに関する新たな仕組みを承認。
- 当該プロセスは屋上屋を重ねるものではなく、より良い新規提案を行うことを促すためのものであることを確認。

分野横断的標準化案件

#### 4. SAGインダストリー4.0／スマートマニュファクチャリング最終レポート 〈TMB Resolution 103/2016, 104/2016, 105/2016〉

- 関係するTC間の情報共有やコミュニケーションの活性化、規格開発の調整等を行うCoordination Committeeの設立を承認（関連TCとしてTC199（機械安全）を追加）。
- CCの活動期間は2年。構成メンバーは関連TCの議長と、IECやITU-Tの代表者も含む。
- 同時に提案されていたスマートマニュファクチャリングに関する定義は、引き続きCCで議論を行うこととなった。
- また、RAMI 4.0及びNISTIR 8107を最適なモデルであるとする表現は、より弱いものに修正。

8

#### 5. スマートシティTFの最新情報

- 2017年のWSCFがISOリードとなったことから、明確な目的を持ち、将来展望を示す合意事項が必要との認識のもと、SSCTFにおいてさらに検討を進める。

9

## 6. サービス標準について

- 2016年6月のサービスワークショップ（WS）の成果が共有され、今後のステップについて議論がなされた。主な議論対象は以下の2点。
  - サービス分野の地域ワークショップの開催  
CASCO総会・PASC総会・COPANT総会と同時開催する予定。  
なお、COPANT及びPASCの総会は、互いに公開する方向。
  - Annex SLの除外原則とMSS簡易版に関するサーベイ  
まずTC176と相談した上で全メンバーに対して行い、その結果をTMB及びCASCOにおいて議論を行う。

個別TC/SC案件

## 7. MSにISO26000を用いるためのIWAの開催 <TMB Resolution 110/2016>

- MSにISO26000を用いるためのIWAの提案を承認（幹事国：スウェーデン）。
  - ✓ MSにおいてISO26000を用いるためのガイド（新たなMSではない）の必要性については認識されており、IWAの開催を支持。
- スウェーデンに対しては、ワークショップ参加者のバランスを適切なものとするように要請。

12

## 8. ブロックチェーン及び分散電子台帳技術の新TC設立 <TMB Resolution 111/2016>

- JTC1で取り組むべきとの主張もあったが、スコープはJTC1を超えており、投票の結果を尊重すべきとの認識のもと、新TC設立を承認（幹事国：豪州）。
- 関係するTC（JTC1、TC68、TC154、TC262、TC292、その他のISO/IECのTC）とのリエゾンを要請。
- また、基幹情報通信技術に関する規格の開発は、JTC1とのJWGで行うことを要請。

13

## 9. 加工・流通過程管理の新PC設立 <TMB Resolution 112/2016>

- 新PC（ISO/PC 308）設立を承認（幹事国：オランダ）。なお、初回会合において投票時のコメントについて検討することを要請。

14

## 10. 組織ガバナンスの新TC設立 <TMB Resolution 113/2016>

- 新TC（ISO/TC 309）の設立を承認（幹事国：イギリス）。
- スコープの明確化及び関係するTC（JTC1、TC262、TC292を含む）とのリエゾンを要請。

15



# 御清聴ありがとうございました

経済産業省 ～「標準化・認証」の紹介ページ

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/kijyun/index.html>

日本工業標準調査会ホームページ

<http://www.jisc.go.jp/>